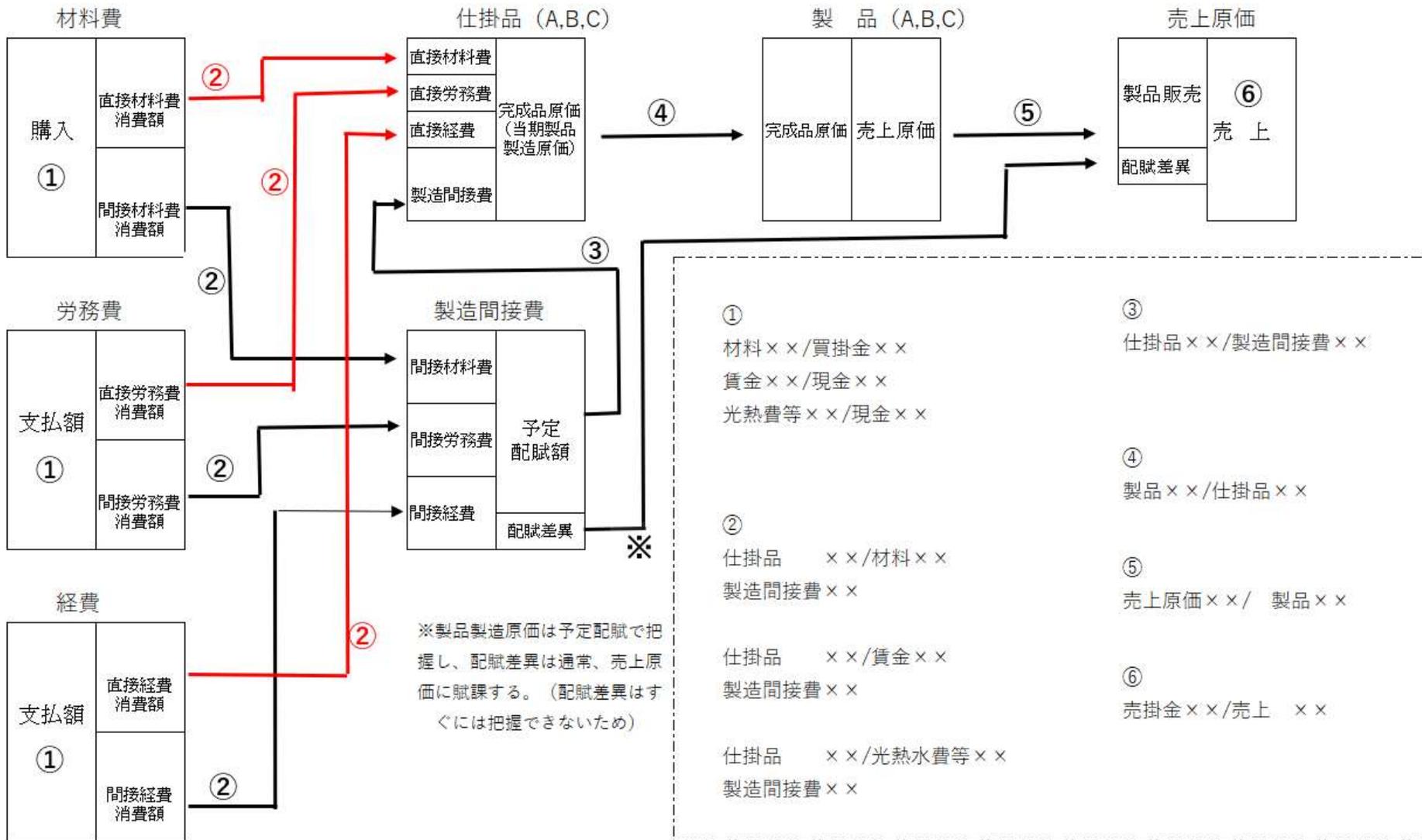


工業簿記のしくみ

原価計算・勘定連絡図（簡略版）

（この簡略版の各勘定科目、①～⑥の流れ、仕訳はすべて暗記しましょう。）



(問題)

仕訳を下さい。勘定科目は次から選ぶこと。

材料	買掛金	賃金・給料	賃率差異	仕掛品	製造間接費	製品
----	-----	-------	------	-----	-------	----

- 1 当月、素材 2,000,000 円、工場消耗品、1,000,000 円を掛けで購入した。
- 2 当月、素材 1,800,000 円、工場消耗品 750,000 円を消費した。
- 3 当月の賃金の消費額を計上する。直接工の直接作業時間は 500 時間、間接作業時間は 70 時間であった。間接工の作業時間は前月末払高 100,000 円、当月支払高 400,000 円、当月未払高 80,000 円であった。直接工の賃金は 1 時間当たり 1,000 円である。
- 4 当月の直接作業時間に基づき予定配賦率を適用して、製造間接費を各製造指図書に予定配賦する。配賦額は直接作業時間 1 時間当たり 2,300 円とする。
- 5 当月、完成した製品は 1,800,000 であった。

(解答)

- 1 材料 3,000,000 / 買掛金 3,000,000
- 2 仕掛品 1,800,000 / 材料 2,550,000
製造間接費 750,000
- 3 仕掛品 500,000 / 賃金・給料 950,000
製造間接費 450,000
- 4 仕掛品 1,150,000 / 製造間接費 1,150,000
- 5 製品 1,800,000 / 仕掛品 1,800,000